

教材① 消費者市民社会ってな～に？

1. 参考 消費者市民の行動

大阪府
消費者市民社会ってな～に？
消費者市民の行動 その①

買い物をするとき、「安い」「便利」というだけで選んでいませんか？
視点を少し深く、広くすることが消費者市民への第一歩です！いつもの買い物から考えてみましょう。

表示をよく見てわからなかったら調べてみよか
(消費について、よく考えて行動しよう)

「こっちの方が安いけど、何がちがうの？」

有機栽培 国産 フェアトレード 無添加

自分が買ったもんどうやって作られたか考えてみよか
(消費が持つ影響力を考えて行動しよう)

「もっと安く買ひたいわ」

激安商品

消費者市民社会とは

「消費者市民社会」とは、消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会をいう。

[消費者教育の推進に関する法律 第2条2項]

自分の行動が社会や環境に悪い影響を与えていないか考えてみよか
(持続可能な消費と生産、社会と環境について考えて行動しよう)

過剰包装

PET 紙

(出典：大阪府消費生活センター「消費者市民社会ってな～に？」)

2. 参考 フェアトレードについて

【目的】

直訳すると「公平な(fair)貿易(trade)」です。開発途上国で生産された作物や製品を「適正価格」で「継続取引」することにより、開発途上国における立場の弱い生産者や労働者に、より安定した収入や生活環境の改善をもたらし、その人たちの自立をめざすとともに、森林伐採や土壌汚染など環境への負荷を減らし、持続可能な環境をめざす貿易のしくみのことです。主に地球の北半球に位置する先進工業国と、南半球に位置する開発途上国との間にある大きな経済格差をなくすことを目的にスタートしました。

【内容と効果】

フェアトレード団体（輸入業者など）は生産者と一緒に商品を開発し、技術指導を行い、できあがった商品を輸入して販売します。その売り上げを生産者への支援活動や商品の仕入れ資金に使うことで、継続的に生産者の自立を支援しています。

生産者の意見を取り入れて生産地域の社会発展のために使う資金「フェアトレードプレミアム」もあります。生産品の代金とは別に支払われ、機器の購入や整備、学校や病院の建設など生産地域の環境や生産者の暮らしの改善などに使われます。



生産国ではこんな問題が

児童労働

小規模な家族経営が多い農園では、子どもが労働の重要な担い手になることがあります。しかし、子どもが学校に行けなかったり、農薬散布や刃物の使用などによる病気やけがなどが問題になっています。

環境破壊

先進国における急激な生産物の消費量増大は、環境破壊につながります。たとえば、農地を広げるために森林伐採が進んだり、多量の農薬散布により、土壌や水が汚染され、その地域の人々への健康被害といった問題も起こっています。

貧困

多くの生産者はその生産による収入だけで生活しているので、天候不順や需要の減少により生産量が減ると、すぐに生活に影響が出てきます。また、生産物の価格は生産地から離れた先進国で決まります。消費地での流行などによる消費状況など生産地と関係のない要因も、価格の変動に大きく関係し、生産者の生活を不安定にしています。

【フェアトレード製品にはこんなものが】

チョコレートやコーヒー、コットン製品などのほか、アイスクリームやサッカーボール、ウエディングドレスなどもあります。



国際フェアトレード認証ラベル

原料が生産されてから、輸出入、加工、製造工程を経て、完成品となるまでの全過程で、国際フェアトレードラベル機構が定めた基準が守られていることを証明するラベルです。



世界フェアトレード機関(WFTO)マーク

WFTOラベルは、主たる事業として持続可能なフェアトレード活動を行っている保証された団体によって生産・取引された製品につけられます。



フェアトレード10の指針 (世界フェアトレード機関(WFTO)による)

- | | | |
|-------------------|------------------------|----------------------|
| 1. 生産者に仕事の機会を提供する | 4. 生産者に公正な対価を支払う | 7. 安全で健康的な労働条件を守る |
| 2. 事業の透明性を保つ | 5. 児童労働及び強制労働を排除する | 8. 生産者の技術・能力の向上を支援する |
| 3. 公正な取引を実践する | 6. 差別をせず男女平等と組織化の自由を守る | 9. フェアトレードを推進する |
| | | 10. 環境に配慮する |

上記のほかにも企業や団体が独自の基準を設け、生産者と直接取引引きするなどしています。

3. 「すぐにできる消費者市民としての行動」

海外の生産者を支援するフェアトレードだけが、持続可能な社会を実現するための行動ではありません。持続可能な消費行動として、身近に国内でも実践できることがあります。

消費者市民社会

マイバッグ運動

情報提供・相談

3R活動

地産地消

フェアトレード

被災地の生産品・製品購入で復興支援

フリーマーケット

ベルマーク

グリーン購入

省エネ

障がい者作業所の商品購入